

## 主要魚介類の産卵場・生育場について

### (1) 燧灘北西部（広島県水域）

出典：高場稔「瀬戸内海中部海域におけるマダイ0歳魚の成長と水温および分布密度との関係」  
（日本水産学会誌 64(1) 1998年1月）

#### 1. 調査期間：

- ・1983年～1993年（昭和58～平成5年）

#### 2. 調査機関：

- ・広島県水産試験場

#### 3. 調査方法：

- ・1983年～1993年の毎年7～12月にかけて、備後灘、多火（おおび）漁場、八木灘（図-1）の3海域で操業する小型底曳網漁船について、各海域ごとに3隻ずつの標本船を選定し、捕獲されたマダイ幼魚をサンプルとして回収。
- ・採捕されたマダイ幼魚（表-1）すべての尾叉長と体重を測定し、肥満度（ $\text{体重} \div \text{尾叉長}^3 \times 10,000$ ）を算定した（図-2）。

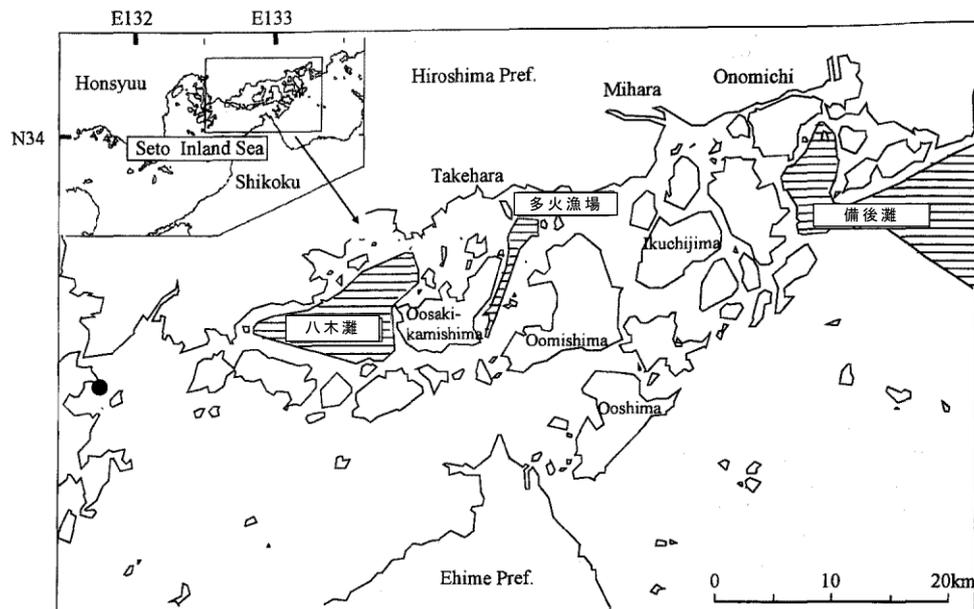


図-1 調査海域

表-1 調査海域別マダイ0歳魚採集尾数

年	備後灘	多火漁場	八木灘	計
1983	808	933	228	1,969
1984	1,050	2,714	1,341	5,105
1985	877	282	143	1,302
1986	846	538	271	1,655
1987	893	599	236	1,728
1988	1,472	874	509	2,855
1989	416	244	182	842
1990	422	215	39	676
1991	1,246	829	182	2,257
1992	548	230	105	883
1993	893	934	324	2,151
計	9,471	8,392	3,560	21,423

## (2) 広島湾西部

出典：水産庁 「大規模増殖場造成事業調査総合報告書（昭和 61 年度版）」  
 （昭和 62 年 4 月）

### 1. 調査期間：

- ・ 1984～1985 年度（昭和 59～60 年度）

### 2. 調査機関：

- ・ 山口県内海水産試験場、同県水産部水産課及び同県柳井水産事務所

### 3. 調査方法：

- ・ マダイの回遊と分布：既往文献の整理及び地元漁業協同組合からのヒアリング調査を基に推定（図-2）。
- ・ マダイ卵の分布：プランクトンネット（まるとく B 号ネット）により、21 定点で各 1 回の水深 20m からの垂直曳による卵採取調査を実施（1984 年 6 月 12～13 日、図-3）。
- ・ マダイ幼稚魚の分布：39 定点で、自家用餌料曳網（試験操業）によりマダイ幼稚魚の採捕を実施（1984 年 8～10 月）。39 定点中、17 定点で幼稚魚の分布が確認された。（図-4）

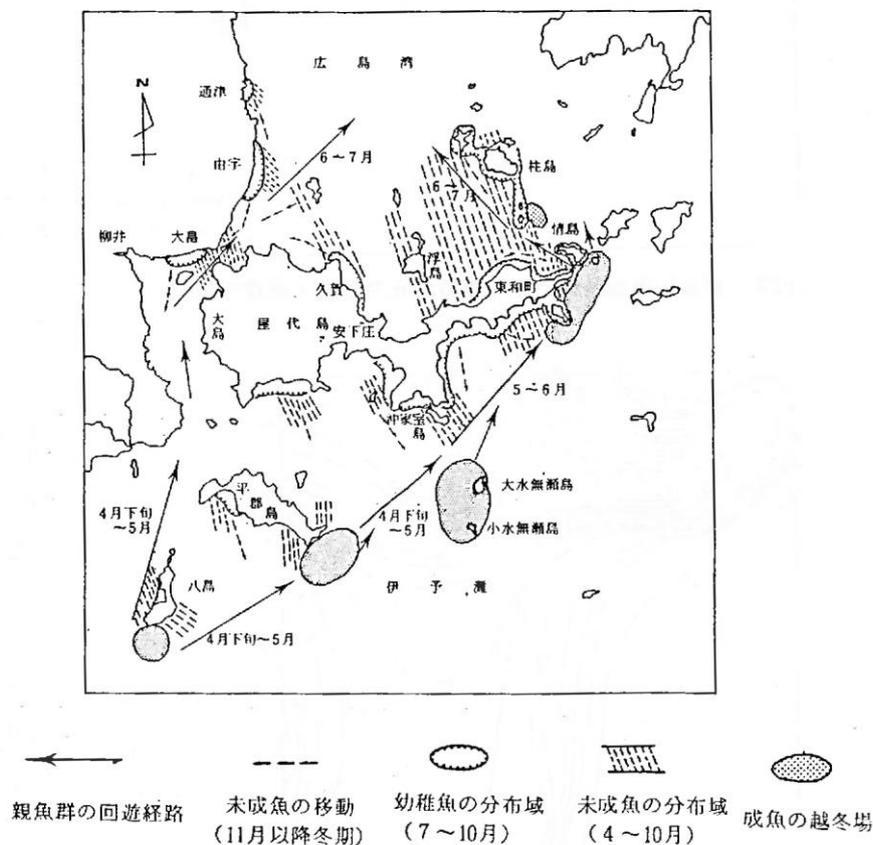


図-2 マダイの回遊・移動・分布（既往文献及びヒアリング調査から推定）

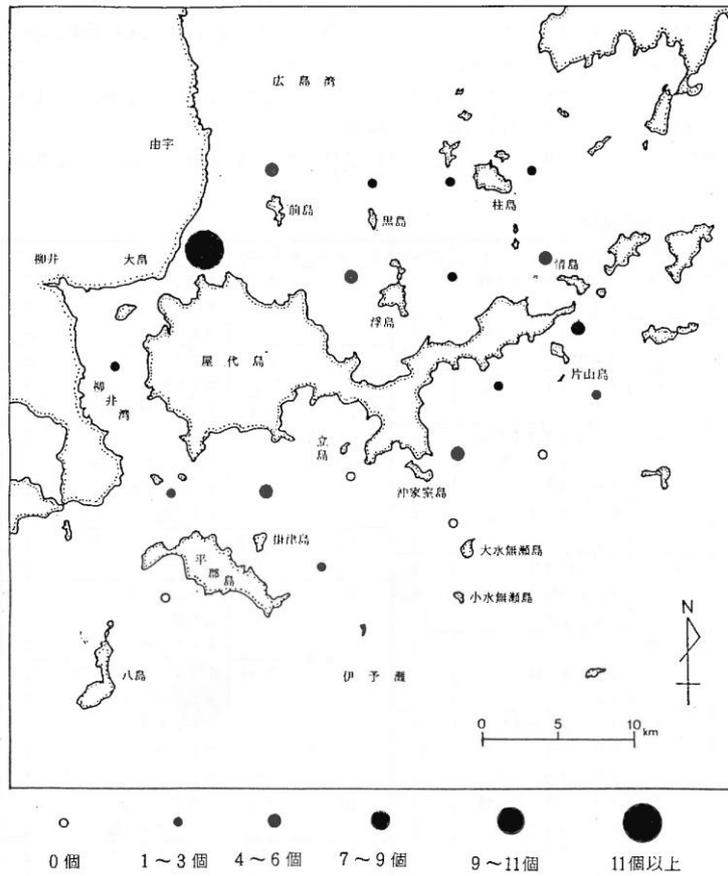


図-3 マダイ類似卵の単位濾水量あたり分布量 (個/m<sup>3</sup>濾水量)

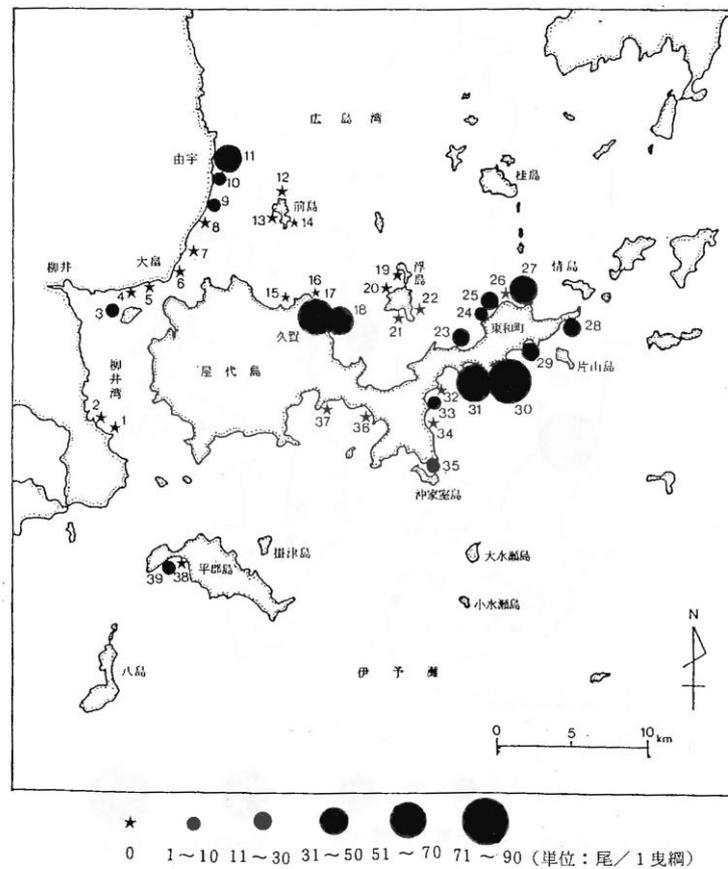


図-4 試験操業 (餌料曳網) によるマダイ幼稚魚の分布量

### (3) 響灘及び周防灘（周防灘）

出典：山口県・福岡県・大分県「昭和 59 年度 沿岸域漁業管理適性化方式開発調査 周防灘  
域海域別調査事業報告書」（1985 年 3 月）

#### 1. 調査期間：

- ・昭和 59 年度

#### 2. 調査機関：

- ・福岡県水産試験場、大分県水産試験場、山口県内海水産試験場、南西海区水産研究所

#### 3. 調査方法：

- ・イシガレイの卵・稚仔の分布：過去に実施した卵稚仔調査の結果を基に推定。（図-5、図-6）

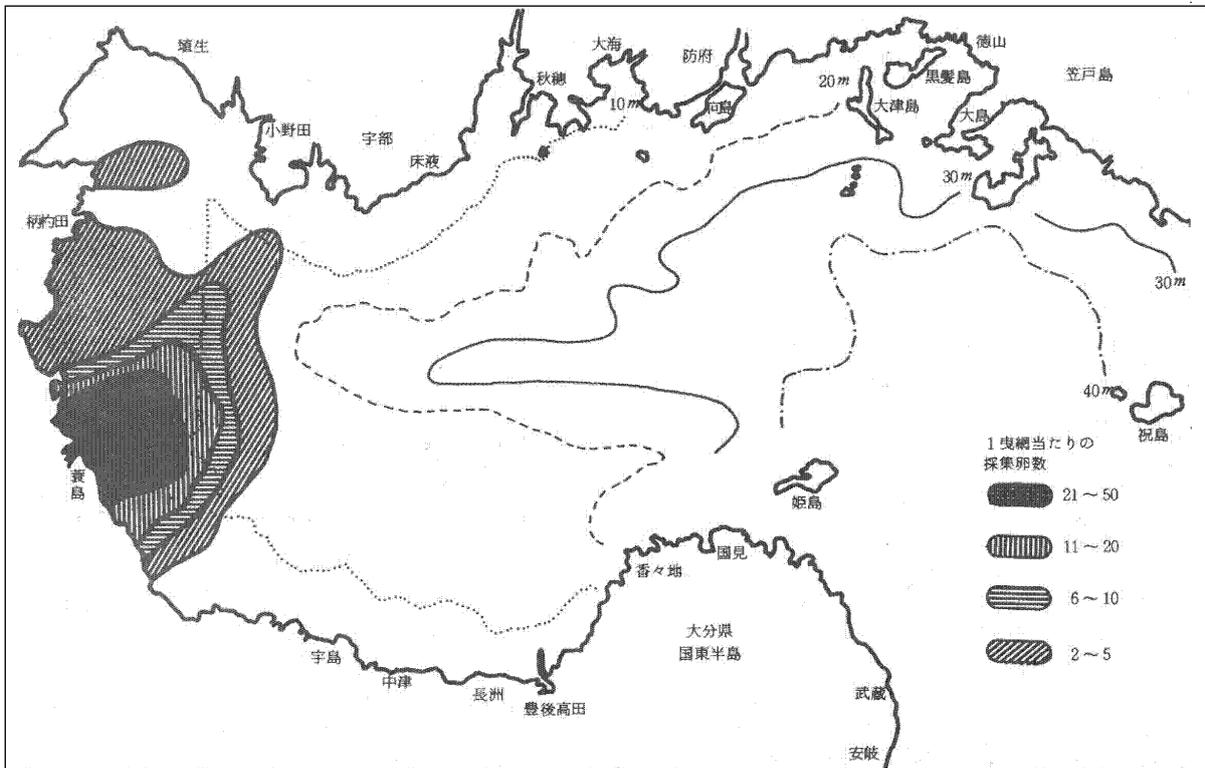


図-5 イシガレイ卵の分布

注) 1974 年に実施したまる特ネットによる垂直曳による調査結果

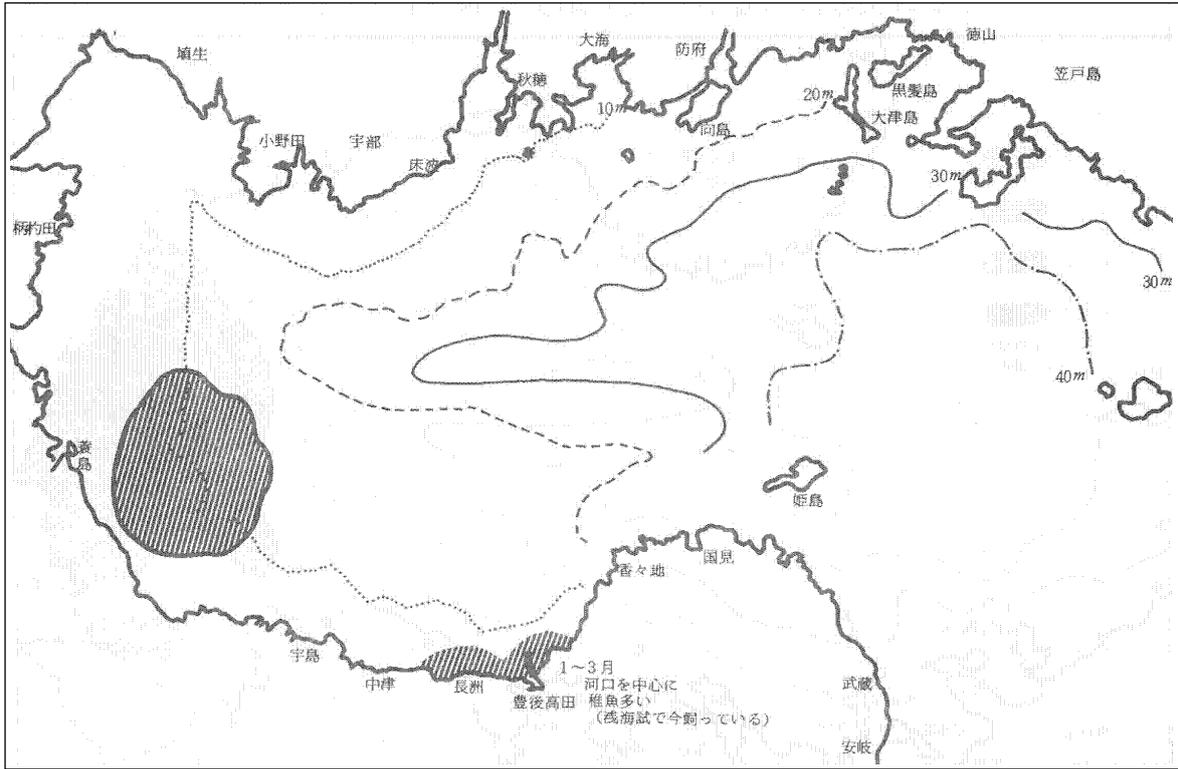


図-6 イシガレイ稚魚の分布